



平成 30 年 9 月 20 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 ア ズ ー ム  
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 菅 田 洋 司  
(コード番号：3496 東証マザーズ)  
問 合 せ 先 専 務 取 締 役 管 理 本 部 長 高 橋 崇 晃  
(TEL. 03-5365-1235)

### 東京証券取引所マザーズへの上場に伴う当社決算情報等のお知らせ

当社は、本日、平成 30 年 9 月 20 日に東京証券取引所マザーズに上場いたしました。今後とも、なお一層のご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

なお、平成 30 年 9 月期（平成 29 年 10 月 1 日から平成 30 年 9 月 30 日）における当社の業績予想は以下のとおりであり、また、最近の決算情報等につきましては別添のとおりであります。

【個 別】

(単位：百万円・%)

項目	平成 30 年 9 月期 (予想)			平成 30 年 9 月期 第 3 四半期累計期間 (実績)		平成 29 年 9 月期 (実績)	
	対売上高 比率	対前期 増減率		対売上高 比率		対売上高 比率	
売 上 高	1,819	100.0	49.1	1,326	100.0	1,220	100.0
営 業 利 益	202	11.1	548.9	131	9.9	31	2.6
経 常 利 益	193	10.6	545.9	129	9.8	29	2.5
当期（四半期）純利益	135	7.5	267.3	83	6.3	36	3.0
1 株 当 たり 当 期 (四半期) 純利益	112 円 08 銭			69 円 47 銭		31 円 96 銭	
1 株 当 たり 配 当 金	0 円 00 銭			—		0 円 00 銭	

- (注) 1. 当社は、連結財務諸表及び四半期連結財務諸表を作成しておりません。
2. 平成 29 年 9 月期（実績）及び平成 30 年 9 月期第 3 四半期累計期間（実績）の 1 株当たり当期（四半期）純利益は期中平均株式数により算出しております。平成 30 年 9 月期（予想）の 1 株当たり当期純利益は、公募株式数（250,000 株）を考慮した予定期中平均株式数により算出しております。
3. 平成 30 年 5 月 31 日付で普通株式 1 株につき 100 株の株式分割を行っておりますが、上記では平成 29 年 9 月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1 株当たり当期（四半期）純利益を算出しております。

## 【平成30年9月期業績予想の前提条件】

### (1) 当社の見通し

当社の主要事業領域である月極駐車場市場は、自動車保有台数は底堅く推移しております。二輪車を除いた自動車の合計はリーマンショック以降、年々増加傾向であり、リーマンショック前の台数を超える保有台数となっております。また、駐車場台数に関しては、附置義務駐車施設が都心部でのビル建設を背景に、増加傾向となっております。そのため、市場規模が引き続き堅調に推移するものと想定しております。

このような環境の下、当社は「世の中の遊休不動産を活躍する不動産に」という企業理念に基づき、「月極駐車場紹介サービス」と「月極駐車場サブリースサービス」を主力サービスとして、事業の拡充を図っております。

「月極駐車場紹介サービス」においては、当社運営のポータルサイトである「カーパーキング」の強化・情報の充実により、月極駐車場の問い合わせは増加しております。スマートフォンの普及により、月極駐車場をスマートフォンで探す消費者が増加していることも要因の一つであると考えています。「月極駐車場サブリースサービス」においても、オーナーの保有するビルの空き駐車場のサブリース依頼が増加しております。特に、分譲マンションの空き駐車場のサブリース依頼が増加傾向にあります。

このような状況下、平成30年9月期の業績予想は、期初に想定した金額に基づいて算定しており、平成30年6月まで概ね予想どおりで推移しております。

平成30年9月期第3四半期累計期間の実績は、売上高1,326百万円、営業利益131百万円、経常利益129百万円、四半期純利益83百万円となりました。

また平成30年9月期の通期業績予想は、売上高1,819百万円（前期比49.1%増）、営業利益202百万円（前期比548.9%増）、経常利益193百万円（前期比545.9%増）、当期純利益135百万円（前期比267.3%増）を見込んでおります。

### (2) 個別の前提条件

#### ①売上高

当社の売上高は、「月極駐車場紹介サービス」、「月極駐車場サブリースサービス」及び「その他サービス」にて構成されております。

「月極駐車場紹介サービス」における売上高については、当社運営の月極駐車場検索ポータルサイト「カーパーキング」への問い合わせ件数を前提に算出しております。エリアごとに、問い合わせの件数、月極駐車場料金、担当人員数を考慮し、手数料売上を算出しております。問い合わせ件数は直近2期（平成28年9月期62,586件、平成29年9月期85,503件）において、前期比30%以上の増加となっており、平成30年9月期も、掲載物件数の拡充により同様の水準での問い合わせ数増加を維持できるものと考えております。紹介サービスによる手数料売上は月極駐車場料金に依拠するため、エリアにおける料金および過去実績を元に算出しております。また、担当人員数も増員を計画しております。

以上の結果、通期業績予想の「月極駐車場紹介サービス」における売上高は187百万円（前期比30.7%増）を見込んでおります。

なお、平成30年9月期第3四半期累計期間においては、当社の月極駐車場検索ポータルサイトである「カーパーキング」の更なる強化・充実を背景に、問い合わせ件数が

104,607件と増加（前年同期比75.8%増）し、「月極駐車場紹介サービス」における売上高は147百万円となりました。

「月極駐車場サブリースサービス」における売上高については、貸出台数（平成28年9月期実績2,649台、平成29年9月期実績3,789台）を前提に、賃料売上として算出しております。オーナーからの受託台数、解約台数、貸出台数を前提に、エリアごとの貸出賃料を設定しており、これらをもとに、賃料売上を算出しております。オーナーからの受託台数に関しては、分譲マンションの受託を積極展開するために首都圏において、営業先を拡大しております。支社においても、営業先を拡大、新たなブランチ（支店）を出店することにより、受託機会の増加を見込んでおります。また担当人員も増員をしております。解約台数に関しては過去実績をベースに解約率を算出し、受託台数に乗じて算出しております。貸出台数に関しては上記の過去実績をベースに、担当人員の増員を行い、平成30年9月期計画である7,074台をもとに算出しております。

以上の結果、通期業績予想の「月極駐車場サブリースサービス」における売上高は1,586百万円（前期比51.4%増）を見込んでおります。

なお、平成30年9月期第3四半期累計期間においては、当社運営サイトのカーパーキングへの問い合わせ数増加を背景にサブリースサービスに関しても順調に推移し、貸出台数が6,044台（前期比59.5%増）となり、「月極駐車場サブリースサービス」における売上高は1,146百万円となりました。

「その他サービス」における売上高については、コインパーキングの売上、サブリースサービス時のユーザーからの賃料の回収を口座振替にて行っており、その口座振替手数料、自動車保管場所証明書発行手数料、運営サイトのバナー広告収入等があります。コインパーキングに関しては、積極展開はしておりませんが、オーナーからの依頼があった際に対応をしておりますので、毎年増加する計画ではありません。また、広告収入に関しても同様であります。口座振替手数料、自動車保管場所証明書発行手数料に関しては、「月極駐車場サブリースサービス」の貸出台数に一定程度連動するものであり、当該サービスにおける売上高が増加傾向にあるため、上記金額も増加しております。

以上の結果、通期業績予想の「その他サービス」における売上高は45百万円（前期比58.5%増）を見込んでおります。

なお、平成30年9月期第3四半期累計期間においては、「その他サービス」における売上高は33百万円となりました。

## ②売上原価・売上総利益

当社の売上原価につきましては、主に「月極駐車場サブリースサービス」における、オーナーへ支払う保証賃料にて構成されております。保証賃料は、エリアごとに借上げ賃料を設定しており、各エリアごとの受託台数に借上げ賃料を乗じて策定しております。受託台数については前期実績4,706台から当期計画7,235台（前期比53.7%増）を見込んでおります。また、受託台数に対する貸出台数の割合である稼働率については、期中平均値において前期実績90%、当期計画85%を見込んでおります。期中平均稼働率について、前期実績比で計画値が低くなっているのは、今後の貸出台数増加のため、積極的な受託を継続的に見込んでいる影響であります。

以上の結果、通期業績予想の売上原価は980百万円（前期比47.4%増）、売上総利益は839百万円（前期比51.2%増）を見込んでおります。

なお、平成30年9月期第3四半期累計期間においては、受託台数が6,945台（前期比

47.6%増)へ増加しております。稼働率(期中平均値)については、貸出台数の増加とともに積極的な受託を継続的に実施しており、81%(前年同期比11%減)となりました。以上の結果、売上原価は715百万円、売上総利益は611百万円となりました。

#### ③販売費及び一般管理費・営業利益

販売費及び一般管理費につきましては、主に、人件費、地代家賃及び広告宣伝費等により構成されております。人件費は新規出店、人員拡大を考慮した人員計画に基づき算出しており、増加を見込んでおります。地代家賃については、新規出店による増加を見込んでおります。広告宣伝費は主にWEB広告によるものであり、WEB広告を中心とした広告宣伝を実施していく計画であります。

以上の結果、営業利益は202百万円(前期比548.9%増)を見込んでおります。

#### ④営業外収支、経常利益

営業外費用につきましては、上場関連費用や株式交付費として8百万円、金融機関からの借入に関する支払利息0.8百万円を見込んでおります。なお、営業外収益は大きくは見込んでおりません。

以上の結果、経常利益は193百万円(前期比545.9%増)を見込んでおります。

#### ⑤特別損益・当期純利益

特別利益及び特別損失は見込んでおりません。

法人税等につきましては、税引前当期純利益に法人税の実効税率を乗じた金額を基礎として必要な調整を加えて算出しております。

以上の結果、当期純利益は135百万円(前期比267.3%増)を見込んでおります。

### (3) 現在までの業績進捗状況

第3四半期累計期間については、売上高1,326百万円、営業利益131百万円、経常利益129百万円、四半期純利益83百万円となっており、売上、利益ともに計画をやや上回って推移しております。

#### 【業績予想に関するご留意事項】

本資料に記載されている当社の業績見通しについては、本資料の作成時点において入手可能な情報による判断及び仮定を前提にしており、実際の業績は様々な要因によって異なる場合があります。

平成30年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成30年9月20日

上場会社名 株式会社アズーム 上場取引所 東  
 コード番号 3496 URL https://azoom.jp/  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)菅田 洋司  
 問合せ先責任者 (役職名)専務取締役管理本部長 (氏名)高橋 崇晃 (TEL) 03(5365)1235  
 四半期報告書提出予定日 - 配当支払開始予定日 -  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年9月期第3四半期の業績(平成29年10月1日～平成30年6月30日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年9月期第3四半期	1,326	-	131	-	129	-	83	-
29年9月期第3四半期	-	-	-	-	-	-	-	-

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年9月期第3四半期	69.47	-
29年9月期第3四半期	-	-

- (注) 1. 平成29年9月期第3四半期においては、四半期財務諸表を作成していないため、平成29年9月期第3四半期の数値及び平成30年9月期第3四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。  
 2. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、当社株式は平成30年9月期第3四半期において非上場であり、期中平均株価が把握できないため、記載しておりません。  
 3. 平成30年5月31日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っておりますが、当事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	%
30年9月期第3四半期	516	-	117	-	22.8
29年9月期	357	-	34	-	9.6

(参考) 自己資本 30年9月期第3四半期 117百万円 29年9月期 34百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年9月期	-	-	-	0.00	0.00
30年9月期	-	0.00	-	-	-
30年9月期(予想)	-	-	-	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年9月期の業績予想(平成29年10月1日～平成30年9月30日)

(%表示は、通期は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,819	49.1	202	548.9	193	545.9	135	267.3	112.08

- (注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無  
 2. 平成30年5月31日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っておりますが、当事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益を算定しております。  
 3. 平成30年9月期(予想)の1株当たり当期純利益は、公募株式数(250,000株)を考慮した予定期中平均株式数により算出しております。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

30年9月期3Q	1,203,000株	29年9月期	1,203,000株
----------	------------	--------	------------

② 期末自己株式数

30年9月期3Q	—株	29年9月期	—株
----------	----	--------	----

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

30年9月期3Q	1,203,000株	29年9月期3Q	—株
----------	------------	----------	----

(注) 1. 第3四半期の業績開示を当事業年度より行っているため、平成29年9月期第3四半期の期中平均株式数については記載しておりません。

2. 平成30年5月31日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っておりますが、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、株式数を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が本資料の発表日現在において入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります

## 添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
第3四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間における我が国の経済は、企業業績の回復や雇用・所得環境に改善が見られる等、緩やかな回復基調でありました。しかしながら、中国をはじめとする新興国経済や資源価格の動向、米国の政策動向や各国の経済情勢等の変化、近隣諸国の地政学的リスクの高まりにより、景気の先行きにおいては、不透明な状況が続いております。

国内における駐車場業界につきましては、都市部における慢性的な駐車場不足の解消のため、将来的にマーケット規模の拡大が見込まれております。また、オフィスビルやマンションに付随している駐車場のみならず個人宅などの限られたスペースを駐車場として運営する取組みをはじめ、「世の中の遊休不動産を活躍する不動産に」という経営理念のもと、積極的な人材採用と人材育成により組織体制を強化し、規模拡大に注力致しました。

この結果、当第3四半期累計期間の売上高は1,326,957千円、営業利益は131,560千円、経常利益は129,584千円、四半期純利益は83,574千円となりました。

#### (売上高)

売上高は1,326,957千円となりました。サービス別の売上高の内訳は、月極駐車場紹介サービス147,483千円、月極駐車場サブリースサービス1,146,283千円、その他サービス33,191千円であります。

#### (売上総利益)

売上原価は715,635千円となりました。これは主に駐車場オーナーへ支払う賃借料704,688千円であります。この結果、売上総利益は611,322千円となりました。

#### (営業利益)

販管費及び一般管理費は479,761千円となりました。これは主に給料手当194,879千円や広告宣伝費23,625千円であります。この結果、営業利益は、131,560千円となりました。

#### (経常利益)

営業外収益は659千円、営業外費用は2,635千円となりました。営業外費用は主に借入金に係る支払利息543千円や上場関連費用2,084千円であります。この結果、経常利益は129,584千円となりました。

#### (四半期純利益)

法人税等を46,010千円計上した結果、四半期純利益は83,574千円となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第3四半期会計期間末における流動資産は413,896千円となり、前事業年度末に比べて140,552千円の増加となっております。その主な要因は、現金及び預金が95,881千円増加したとともに取引案件の増加に伴い前払費用が36,652千円増加したことによるものであります。固定資産は102,853千円となり、事務所設備を新規に取得したことにより有形固定資産が8,933千円増加したほか、差入保証金が9,877千円増加した影響により前事業年度末に比べて18,793千円増加しました。以上の結果、総資産は前事業年度末と比べて159,346千円増加し、516,750千円となっております。

#### (負債)

当第3四半期会計期間末における流動負債は191,481千円となり、前事業年度末に比べて51,857千円増加しております。その主な要因は課税所得の発生に伴い未払法人税等が45,756千円増加したことによるものであります。固定負債は207,397千円となり、預り保証金が39,431千円増加した影響により前事業年度末に比べて23,914千円増加しました。以上の結果、負債合計は前事業年度末と比べて75,772千円増加し、398,879千円となっております。

#### (純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産は117,870千円となり、前事業年度末に比べて83,574千円増加しております。その要因は四半期純利益を83,574千円計上したことにより利益剰余金が同額増加したことであり、総資産に占める自己資本比率は22.8%（前事業年度末は9.6%）となりました。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

本日開示いたしました「東京証券取引所マザーズへの上場に伴う当社決算情報等のお知らせ」をご参照ください。



## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

### (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年9月30日)	当第3四半期会計期間 (平成30年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	168,723	264,604
売掛金	20,552	31,530
前払費用	72,720	109,373
その他	11,965	9,253
貸倒引当金	△617	△865
流動資産合計	273,343	413,896
固定資産		
有形固定資産	15,668	24,602
無形固定資産	11,165	11,729
投資その他の資産		
敷金	29,188	29,863
差入保証金	24,308	34,186
その他	5,179	4,173
貸倒引当金	△1,450	△1,701
投資その他の資産合計	57,226	66,521
固定資産合計	84,060	102,853
資産合計	357,403	516,750

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年9月30日)	当第3四半期会計期間 (平成30年6月30日)
負債の部		
流動負債		
未払金	27,756	19,726
未払法人税等	200	45,956
前受収益	56,124	58,924
賞与引当金	3,000	3,000
1年内返済予定の長期借入金	10,036	11,652
その他	42,507	52,222
流動負債合計	139,624	191,481
固定負債		
長期借入金	39,290	20,990
預り保証金	127,459	166,891
退職給付引当金	1,500	2,100
資産除去債務	13,038	15,102
その他	2,193	2,312
固定負債合計	183,482	207,397
負債合計	323,107	398,879
純資産の部		
株主資本		
資本金	70,094	70,094
資本剰余金	50,000	50,000
利益剰余金	△85,798	△2,224
株主資本合計	34,296	117,870
純資産合計	34,296	117,870
負債純資産合計	357,403	516,750

(2) 四半期損益計算書

(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期累計期間 (自 平成29年10月1日 至 平成30年6月30日)
売上高	1,326,957
売上原価	715,635
売上総利益	611,322
販売費及び一般管理費	479,761
営業利益	131,560
営業外収益	
その他	659
営業外収益合計	659
営業外費用	
支払利息	543
上場関連費用	2,084
その他	8
営業外費用合計	2,635
経常利益	129,584
税引前四半期純利益	129,584
法人税、住民税及び事業税	45,956
法人税等調整額	54
法人税等合計	46,010
四半期純利益	83,574

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。